



ほけんだより

8月号



2022年8月1日
いちご保育園
看護師 佐々木

今年はあっという間に梅雨が明けたと思っていたら、戻り梅雨で雨の日が多く続きました。気温は高いので、雨が降っていなければ、子どもたちは水遊びやプール遊びを楽しんでいます。

新型コロナウイルスも爆発的に増え続け、市内でも乳幼児の感染が多くなっています。

引き続き、感染対策をしながら夏を楽しみましょう！

熱中症

熱中症は、日射病、熱射病などの総称です。日射病は、戸外で強い直射日光にさらされることが原因で、熱射病は室内でも気温の高い場所に長時間いたために起こることが原因です。



熱中症の症状

日射病…顔は赤く、呼吸が荒くなります。皮膚感覚は熱く、体温が上がっても汗が出ず、めまい・頭痛・吐き気などを伴います。

熱射病…顔は青白く、大量の汗をかきます。皮膚感覚は冷たく、めまい・吐き気を伴います。

なぜ子どもは熱中症になりやすいの？

子どもは体温調節がうまくできず、温度変化の影響を受けやすい、また衣服の着脱も水分補給も一人で行うのが難しいため、容易にかかりやすいのです。

車や家の中でも熱中症になります

特に車中では、気温が高なくても高温になるので、子どもを一人にするのは絶対に避けましょう。

予防のポイント

- 日中は帽子をかぶって外出をしましょう。日除けのあるベビーカーも照り返して暑くなるので、散歩はできるだけ短時間で切り上げましょう。
- 炎天下での遊びは、長時間に及ばないように注意しましょう。海や屋外プールなどの水辺でも、30分毎に日陰で休息をとるようにしましょう。
- 肩まで隠れる、吸湿性、吸水性に優れた衣服を選びましょう。
- 水分補給は、電解質の入っている経口補水液などの飲み物を与えましょう。

※マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなり、気づかないうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなります。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」とマスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

環境省・厚生労働省HPより抜粋

手洗い指導を行いました

7月初めに、乳児・幼児クラスで手洗い指導を行いました。乳児クラスでは手遊びや歌を歌い手洗いの意識をもってもらえるように指導しました。幼児クラスでは、歌やクイズや紙芝居、ブラックライトを取り入れ、手洗いの手順まで指導しました。指の間や爪の先まで歌に合わせて洗うことができるようになったので、うちでも子どもたちにきいてみてください。歌はビオレのあわあわ手洗いの歌を歌いました。



職員のコロナ抗原検査について

コロナウイルスが猛威をふるっています。

厚生労働省より通達もきており、全職員に対して8月より、1週間に1度、出勤前に抗原検査を実施することとしました。

園でも引き続き感染対策をして参りますので、保護者の方々も体調不良等ありましたら、お休みするなどのご協力を宜しくお願い致します。

薬剤説明書のご提出にご協力ください

お子さまたちの体調を把握するためと万が一保育園で病院にかかった時に現在使用しているお薬を医療機関に正確に伝えるために、保護者の皆様には、薬剤説明書を提出していただいています。ご協力を宜しくお願いいたします。